

## 平成 23 年度 第 2 回 環境水理部会 議事録

時間：平成 24 年 3 月 7 日（水） 12:10～13:20

場所：愛媛大学 共通講義棟 32 番講義室

出席者（敬称略）：二瓶泰雄，赤松良久，中山恵介，安田浩保，土屋十囀，藤野毅，横山勝英，新谷哲也，宮本仁志，矢島啓，矢野真一郎，重枝未玲，斎田倫範，大石哲也，井上徹教，今村正裕，堀田哲夫，工藤健太郎，井芹寧（順不同）

### 【審議事項】

#### 1. 平成 24 年度研究集会について（矢野委員）

配布資料を基に平成 24 年度研究集会に関して説明がなされ、5/21-23、水俣市で開催し、資料に記載されたスケジュールに従って行われることが承認された。また、H24 年度から特別セッションを設け、これを夜に開催する（ナイトセッションとする）こと、内容はダムの環境影響とすることが提案され、了承された。ナイトセッションの詳細に関しては、二瓶部会長と矢野委員で相談して決めることで合意が得られた。なお、研究集会は 3 日間あり、途中からの参加も認められることが確認された。

#### 2. 震災対応 WG 設立（横山委員）

資料 2 に基づき、震災対応に関して土木学会重点課題への申請内容について説明がなされた。二瓶部会長より、この研究活動を、部会活動の一つとなる「震災対応 WG」を設立することが提案され、承認された。また、横山委員が震災対応 WG の研究代表者になることも合わせて提案され、承認された。

#### 3. 議事録と内規の HP 公開（二瓶部会長）

部会における議事録を HP 上で公開することが提案され、了承された。また、前回の部会にて審議し、その後の ML 審議で承認された部会内規についても HP 上で公開することが提案され、了承された。

#### 4. 副部会長の決め方（二瓶部会長）

資料 3 に基づいて、副部会長の決め方について提案された。本件の内容は、以下のとおりである。

- ・ 副部会長を原則、次期部会長とする。副部会長は選出段階で部会活動に積極的に関わっていることが望ましい。
- ・ <2011-2012 年度>部会長が部会 ML にて副部会長を公募し、部会執行部で「副部会長候補者」を選定する。9 月開催の部会にて副部会長候補者を提示し、審議する。
- ・ <2013 年度以降>次期部会長が副部会長を部会 ML にて公募し、部会執行部で「副部会長候補者」を選定する。3 月開催の部会にて副部会長候補者を提示し、審議する。

審議の結果、上記の案のとおり承認された。

### 【報告事項】

#### 1. 流域圏 WG 報告

##### (1)流域環境と河道設計 WS 企画について（宮本委員）

配布資料を基に、標記 WS に関する説明が行われた。この WS は河川部会の交流委員の時に、ジョイントセッション開催の議論がなされたことが発端となっている。具体のテーマとして「樹林化」が挙げられ、今後、宮本委員と赤松幹事（流域圏 WG リーダー）が詳細を詰めることで合意が得られた。

##### (2)流域圏シンポの報告（赤松幹事）

資料を基に、H23.12.15 開催の第二回流域圏シンポジウムの状況報告がなされた。参加者総数は 102 名であり、アンケート結果より概ね好評であったことが報告された。また、同時に行われた U-Stream の視聴者は 10 名程度であったことが報告された。アンケートでも示されたように、シンポ内の講演に関連する論文リストや参考文献リストを後日 HP などで示するのが良いのではとの意見が出された。

また、第三回流域圏シンポは「ゴミ」をテーマとする予定であったが、震災対応 WG 設立に伴い、この震災関連のテーマとすることが提案され、了承された。開催時期は例年通り 12 月とすることで合意が得られた。

## 2. 水工学委員会の報告（二瓶部会長）

H24.3.6 開催の水工学委員会について報告がなされた。主な内容は以下のとおりである。

- ・ 来年度の水工学講演会は、H25/3/5～7 に名城大学にて開催される。
- ・ H24 年度水工学夏期研修会は北海道で 7 月末に開催する。参加費を安くする検討を行っている。
- ・ 水理公式集の改訂について議論がなされた。

## 3. 環境水理部会の内規について（二瓶部会長）

資料 4 を基に、部会内規について説明がなされた。この内規は H23 年 9 月開催の部会後に寄せられた修正意見を反映したものである。今後、変更があった場合は、適宜改訂し、また、副部会長の選出方法を内規に加筆する必要がある。

## 4. 教科書作成 WG の開催（二瓶部会長）

資料 5 を基に、環境水理学の目次案が示された。この内容は、本日 15 時から教科書作成 WG にて議論する予定であることが報告された。

## 5. 環境水理部会の HP 作成について（二瓶部会長）

部会 HP の更新を田代委員、斉田委員が担当していることが報告された。HP には、名簿・WG 活動・研究集会・内規・議事録を掲載する予定である。さらに、追加すべき内容として、以下の意見が出された。

- ・ 流域圏シンポの参考文献リストなどを載せる。
- ・ 環境水理学に関わる名著や代表的な論文、教科書一覧を掲載する。
- ・ 更新頻度を維持するためにはどうすれば良いか？一案として、最新の研究成果や研究室紹介などを定期的に載せるのが良い。

意見があれば、HP 担当（田代委員、斉田委員）に連絡することが確認された。

## 【その他】

### 1. オブザーバーの選出依頼（二瓶部会長）

部会オブザーバーとして、部会活動に興味がある若手研究者・技術者を推薦して欲しいとの依頼がなされた。その中で、田井先生（九州大学）、大槻先生（東京理科大学）が推挙された。引き続き、オブザーバーの推薦を募ることとなった。

### 2. 環境システム委員会委員の交代について（井芹委員）

環境システム委員会委員を水工学委員会から選出していたが、それを環境水理部会から出していたことが説明された。部会長交代に伴い、井芹委員が水工学委員会委員から外れたため、別の委員を推薦したい旨の説明がなされ、二瓶部会長を推挙することで合意が得られた。ただし、本件の経緯が不明確なため、環境システム委員会に詳細を確認し、また環境水理部会から委員を出す時には内規を修正する必要があることが確認された。

以上